

淡江大學 109 學年度第 2 學期課程教學計畫表

課程名稱	日本安保研究(二)	授課 教師	胡慶山 HU CHING-SHAN
	JAPAN SECURITY RESEARCH(II)		
開課系級	日政經碩專一 A	開課 資料	實體課程 選修 單學期 2學分
	TRGXJ1A		
課程與SDGs 關聯性	SDG16 和平正義與有力的制度 SDG17 夥伴關係		
系 (所) 教育目標			
培育國內外通曉日本政經之高級實務與學術人才，並導引師生致力於日台法政與經貿關係之發展，協助促進國家安全與發展。			
本課程對應院、系(所)核心能力之項目與比重			
A. 具備英日文能力。(比重：100.00)			
本課程對應校級基本素養之項目與比重			
1. 全球視野。(比重：50.00) 5. 獨立思考。(比重：50.00)			
課程簡介	日本的安全保障與台灣的安全保障息息相關，此課程鑒於上述的重要性將研究日本的安全保障上的各項問題。		
	Japan's security is closely related with the security of Taiwan, given the importance of this, the course will examine these issues on the security of Japan.		

本課程教學目標與認知、情意、技能目標之對應

將課程教學目標分別對應「認知 (Cognitive)」、「情意 (Affective)」與「技能(Psychomotor)」的各目標類型。

- 一、認知(Cognitive)：著重在該科目的事實、概念、程序、後設認知等各類知識之學習。
- 二、情意(Affective)：著重在該科目的興趣、倫理、態度、信念、價值觀等之學習。
- 三、技能(Psychomotor)：著重在該科目的肢體動作或技術操作之學習。

序號	教學目標(中文)	教學目標(英文)
1	日本的安全保障與台灣的安全保障息息相關，此課程鑒於上述的重要性將研究日本的安全保障上的各項問題。	Japan's security is closely related with the security of Taiwan, given the importance of this, the course will examine these issues on the security of Japan.

教學目標之目標類型、核心能力、基本素養教學方法與評量方式

序號	目標類型	院、系(所)核心能力	校級基本素養	教學方法	評量方式
1	認知	A	15	講述、討論、發表	測驗、作業、討論(含課堂、線上)、報告(含口頭、書面)

授課進度表

週次	日期起訖	內容 (Subject/Topics)	備註
1	110/02/22~ 110/02/28	安全保障的概念(2019年日本の防衛と予算 - 平成31年度予算の概要 -)	
2	110/03/01~ 110/03/07	戰爭與和平的理論(2019年日本防衛と予算)	
3	110/03/08~ 110/03/14	國際安全保障體制論(中期防衛力整備計画 (平成31年度~平成35年度) について)	
4	110/03/15~ 110/03/21	安全保障與power(2019年日本と東アジア戰略概觀)	
5	110/03/22~ 110/03/28	核與安全保障(2018 (平成30)年日本防衛白書)	
6	110/03/29~ 110/04/04	政軍關係論civilian control(2019年中国安全保障報告書)	
7	110/04/05~ 110/04/11	現代爭端管理(中国の2019年度国防予算について)	
8	110/04/12~ 110/04/18	安全保障的非軍事面(2019年日本新安保法制)	
9	110/04/19~ 110/04/25	非傳統安全與安全保障(2015年日本武器輸出三原則到防衛裝備移轉三原則)	
10	110/04/26~ 110/05/02	聯合國與安全保障(2019年日本の緊急発進実施状況について)	
11	110/05/03~ 110/05/09	國際法與安全保障(2019年南シナ海における中国の活動)	
12	110/05/10~ 110/05/16	後九一一的安全保障(2019年日本平成31年度以降に係る防衛計画の大綱について)	

13	110/05/17~ 110/05/23	戦後日本の安全保障政策(2019年平成31年日本岩屋毅防衛大臣 年頭の辞)	
14	110/05/24~ 110/05/30	日本防衛計画大綱(2019年日本防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画 パンフレット)	
15	110/05/31~ 110/06/06	日本安全保障政策原則(2013年日本平成25年国家安全保障戦略について)	
16	110/06/07~ 110/06/13	日本安全保障関連法制(日本防衛力の在り方検討に関する中間報告について)	
17	110/06/14~ 110/06/20	日美同盟(2014年「4年毎の国防計画の見直し」(QDR))	
18	110/06/21~ 110/06/27	日本の集體的自衛権(2015年日本憲法與集體的自衛権行使新三要件および大規模演習「ヴォストーク2014」について)	
修課應 注意事項	上課認真負責、報告認真準備、能獨立思考		
教學設備	電腦、投影機		
教科書與 教材	胡慶山著、当代國際法戰略關係下的台灣問題(稻鄉出版社、2015年) 安全保障學入門新訂第四版/防衛大學校安全保障學研究會編著、武田康裕+神谷 万丈責任編集、亜紀書房、2011		

<p>參考文獻</p>	<p>森本敏の眼：†b 日本の防衛と安全保障政策 / †c 森本敏著東京：クラフ社，平成 17 [2005] オスプレイの謎. その真実 / 森本敏著.東京：海竜社，2013.8. 日本の瀬戸際：東アジア最大の危機に日本は生き残れるか / 森本敏著東京：実業之日本社，2011. 漂流する日米同盟：民主党政権下における日米関係 / 森本敏監修.東京：海竜社，2010. 安全保障論：21世紀世界の危機管理 / 森本敏.東京：PHP研究所，c2000. 日本防衛再考論：自分の国を守るとのこと = Reconsideration on Japan's defense policy / 森本敏著東京：海竜社，2008 岐路に立つ日本の安全：安全保障・危機管理政策の実際と展望 / 監修森本敏.東京：北星堂書店，2008. ミサイル防衛：新しい国際安全保障の構図 / 森本敏編.東京：日本国際問題研究所，2002 イラク戦争と自衛隊派遣 / 森本敏編東京都：東洋経済新報社，2004 早わかり国民保護法 / 森本敏,浜谷英博著東京：PHP研究所，2005 安全保障学入門新訂第四版/防衛大学校安全保障学研究会編著、武田康裕 + 神谷万丈責任編集、亜紀書房、2011 安全保障政策/ 山本武彦、日本経済評論社、2009 地政学と国際戦略、新しい安全保障の枠組みに向けて/ 浦野起央、三和書籍、2006 日本の安全保障と防衛政策/ 谷内正太郎編、ウエッジ、2013 教科書・日本の安全保障/ 田村重信、杉之尾宜生編著、芙蓉書房、2004 日本の安全保障政策/ 西川吉光著、晃洋書房、2008 教科書・日本の防衛政策/ 田村重信、佐藤正久編著、2008 日本防衛再考論/ 森本敏著、海竜社、2008 日本の再軍備への道/ 柴山太著、ミネルヴァ書房、2010 対立深まる南シナ海進む日米越比協力・年報アジアの安全保障2015-2016/ 平和・安全保障研究所編集、西原正監修、朝雲新聞社、2016 再起する日本・緊張たかまる東・南シナ海・年報アジアの安全保障2014-2015/ 平和・安全保障研究所編集、西原正監修、朝雲新聞社、2015 混迷の日米中韓 緊迫の尖閣、南シナ海・年報アジアの安全保障2013-2014/ 平和・安全保障研究所編集、西原正監修、朝雲新聞社、2014 アジアの安全保障2011-2012/ 平和・安全保障研究所編集、西原正監修、朝雲新聞社、2012 民主化後の台湾 その外交、国家観、ナショナリズム/ 河原昌一郎著、彩流社、2016 東アジアの火薬庫中台関係と日本/ 山本勲、丸山勝著、藤原書店、2001 安倍政権と安保体制/ 田村重信著、内外出版、2015 検証安保法案/ 長谷部恭男、有斐閣、2015</p>
<p>批改作業 篇數</p>	<p>篇 (本欄位僅適用於所授課程需批改作業之課程教師填寫)</p>
<p>學期成績 計算方式</p>	<p>◆出席率： 70.0 % ◆平時評量：10.0 % ◆期中評量：10.0 % ◆期末評量：10.0 % ◆其他〈 〉： %</p>
<p>備考</p>	<p>「教學計畫表管理系統」網址：https://info.ais.tku.edu.tw/csp 或由教務處首頁→教務資訊「教學計畫表管理系統」進入。 ※不法影印是違法的行為。請使用正版教科書，勿不法影印他人著作，以免觸法。</p>